



- ・モジュールの最適レイアウト
- ・屋根の日射量割合を視覚化
- ・モジュールデータを入力して年間発電量を算出

■ PV デザイナーの概要

SunEyeで測定した日影データを基に、モジュールのレイアウトや日影を考慮した発電量の推定ができます。

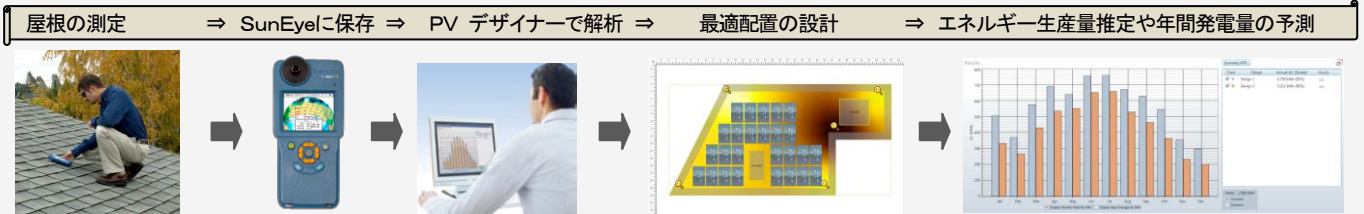
任意の屋根形状を視覚化を行い、屋根領域の影の影響を視覚化しモジュールをドラッグアンドドロップで屋根に配置し、さまざまな配置を簡単に試すことができます。

ストリングを定義し、モジュール位置の調整を行い日照時間の最適な位置での陽光発電量がシミュレーションできます。

エネルギー生産量推定などの機能が揃っているので、インパクトの強い視覚資料を作成できます。

拡張データベースからモジュールとインバータを選択する事で、発電容量に最適化や月間・日間平均・年間エネルギー出力を表示できます。

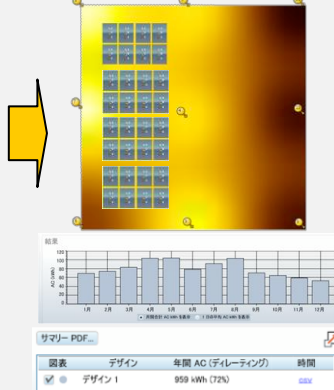
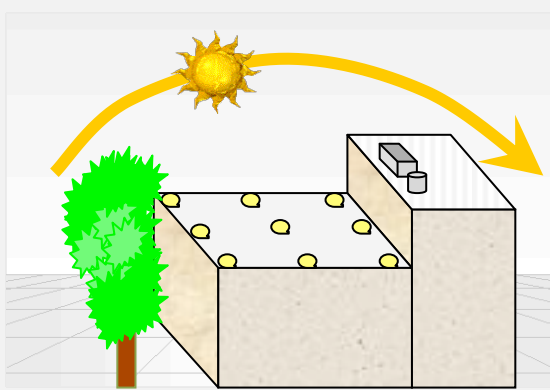
- SunEyeとPCをUSBで接続してデータを移動し解析を行います。
- ・SunEyeには、屋根の上で測定した最大100個の測定点情報が入っています。
- ・SunEyeから転送されたデータからPV デザイナーでレポートを作成する事ができます。



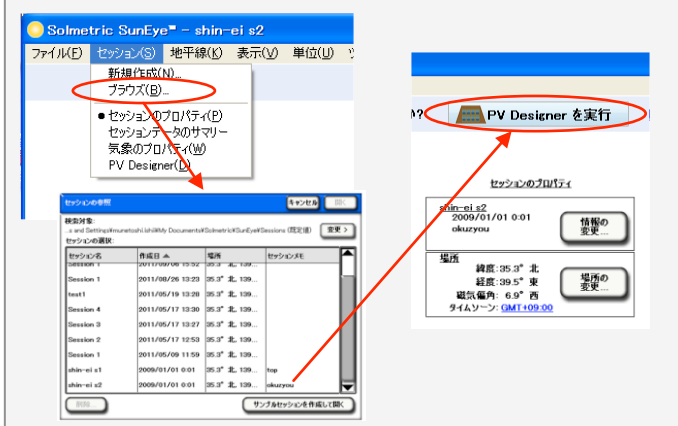
■ SunEyeを持って屋上の9点を測定します。

■ 日射量を視覚化して、発電量をシミュレーション

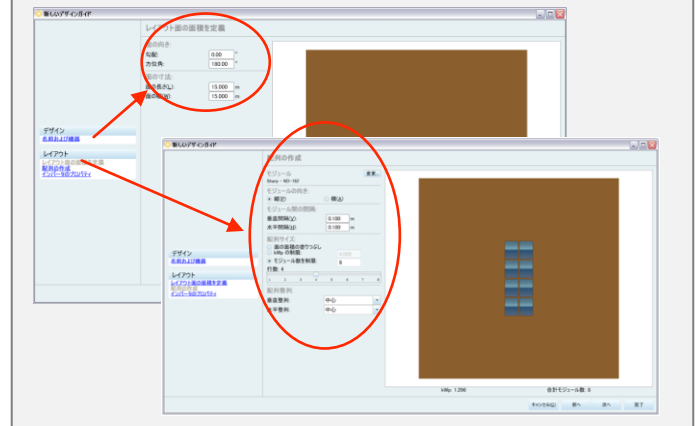
■ 実際の施工結果



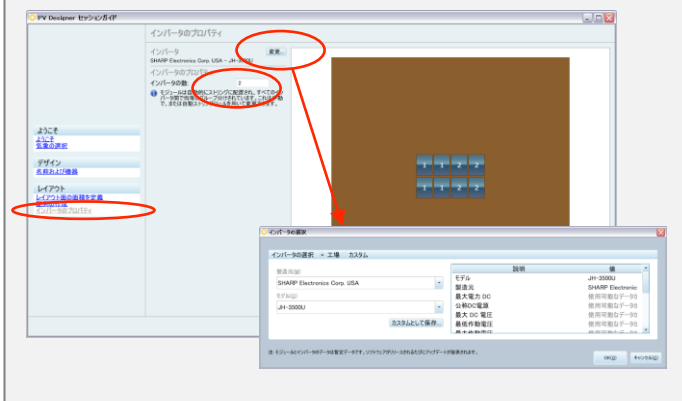
① セッションのブラウザから現場を選択して「PV Designer を実行」をクリック



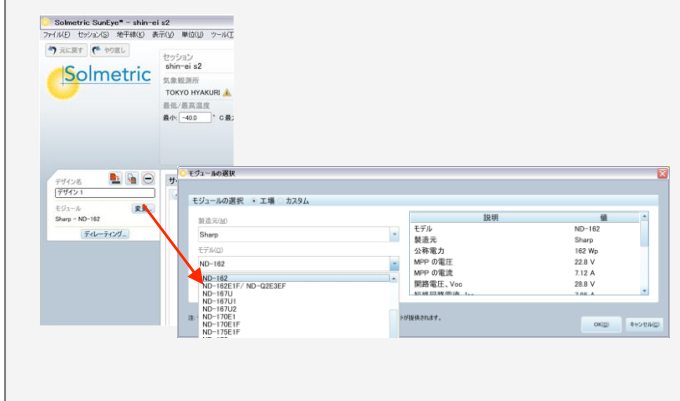
② レイアウト面積の設定・モジュール配列作成



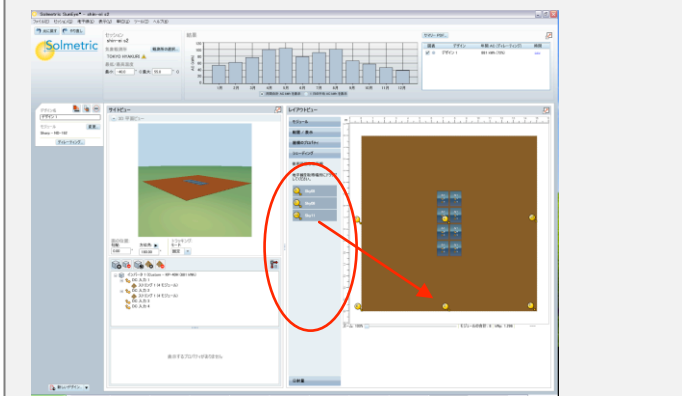
③ インバータの機種や台数を選択



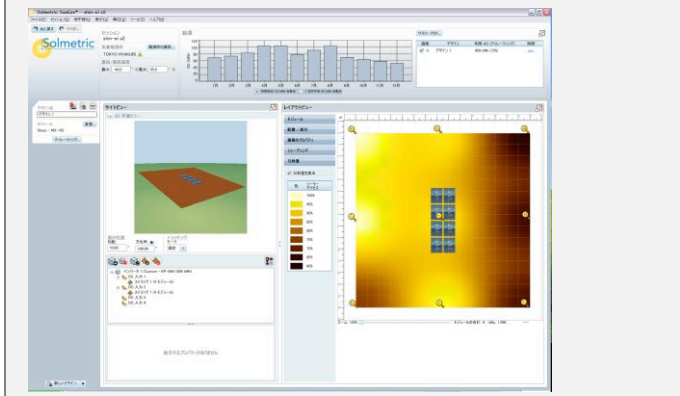
④ モジュールの選択を行う



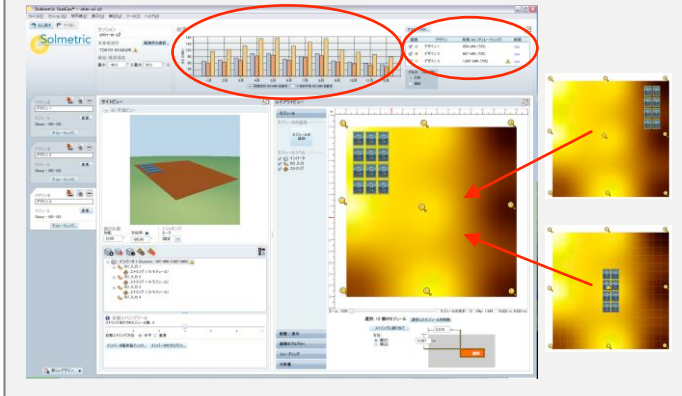
⑤ 測定点情報をドラッグして、その位置に配置します



⑥ 日射量表示をONIにすると全体の日射量が色分け表示されます



⑦ 色々な配置や枚数で発電量をシミュレーション比較する。



⑧ インバータの限界チェックやプロパティを確認



■ 操作ビデオは、下記から閲覧ください
作業内容に合わせて4段階のビデオで構成しています。

- ①PV Designer Training Video Part 1:
<http://www.youtube.com/watch?v=o361uaJcbfQ>
- ②PV Designer Training Video Part 2:
<http://www.youtube.com/watch?v=skBnZOVtTsQ>
- ③PV Designer Training Video Part 3:
<http://www.youtube.com/watch?v=T9SgjtRNn0>
- ④PV Designer Training Video Part 4:
<http://www.youtube.com/watch?v=G9yEeVURwI4>

